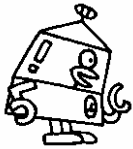


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の発芽と成長 / 理解シート

はつが じょうけん イネの発芽の条件って、どんなものがあるの



イネの発芽はトウモロコシの発芽とよくにいて、たっ
ぷりの水、空気、ちょうどよい温度があれば発芽するよ。

水中では、たいていのたねは、うまく発芽できない

たねを発芽させるには、まず、ひたひたの水につけておきます。あたたかい室内
なら、2～4日ぐらいでたねの皮がやわらかくなり、皮を破って根や芽が出てきま
す。ところが、水をたくさん入れた中にしずめたたねは、ほとんど発芽しません。

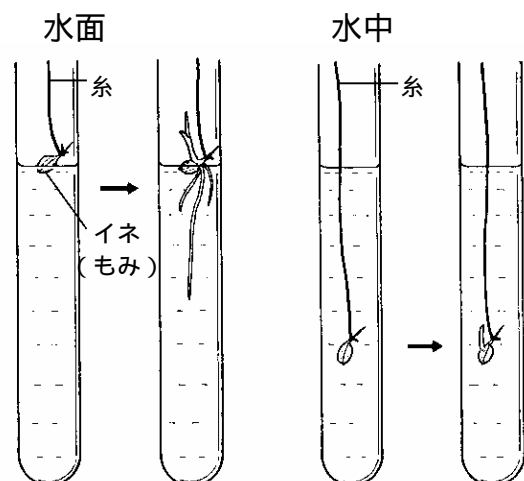
水中では、たねの発芽に必要な水やちょうどよい温度があっても、空気(酸素)
がほとんどありません。そのため、たねは呼吸ができず、うまく発芽しないのです。

水の深さによって、イネの発芽にもちがいが出てくる

水田で育つイネを、図のように深さを変えて水中につるして発芽させると、芽や
根の出方がちがってきます。水面にたねがあるときは、根が先に出て、根も芽も
早くよくのびます。水底では、芽は出るけれど根はほとんど出てきません。

のように、空気も水もたっぷりある
ときは、まず水をすう役目の根がのび、
芽も出てきます。のような水中では、
空気が不足するので、まず、芽が水面か
ら出て空気をすえるようによくのび、根
はなかなか出てこないのです。

イネは、13 以上で水気があれば発芽
し、発芽によい温度は30 ぐらいです。
発芽したときの葉の出方などは、トウモ
ロコシと同じで、ふた葉は出ません。



水の深さによるイネの発芽のちがい